

薬物乱用による心身への悪影響

✓ 脳への影響

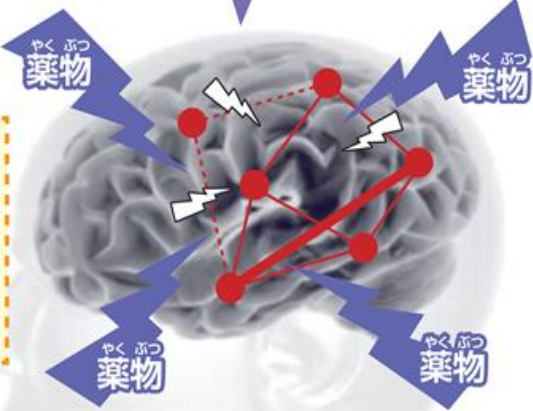
君の脳には、千数百万億個の神経細胞が
つくります複数の回路があるんだ!

脳はスーパーコンピューター!

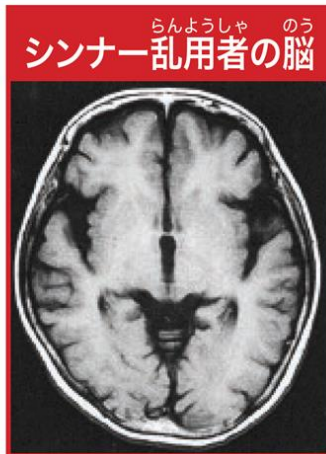
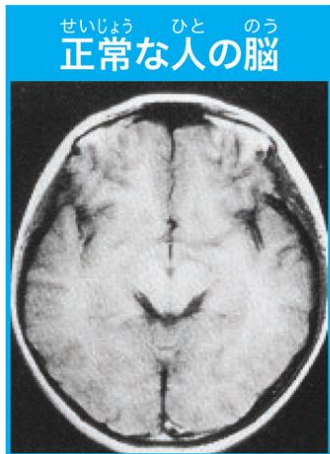
君の感情、体のコントロール、また心臓
などの臓器を動かしているのもこの脳!

薬物が入り込むことで、この回路は破壊
されてしまうんだ!

するとどうなるか…



The diagram shows a human brain with four blue arrows labeled '薬物' (drugs) pointing towards it. Inside the brain, a network of red nodes is connected by lines, with lightning bolts indicating disruption or damage to these neural pathways.



脳の機能

見る, 聞く, 触る, 味わう, 嗅ぐ, 考える,
判断する, 話す, 感じる, 運動する,
心臓を動かす, 呼吸する... → **機能の破壊**

← 神経細胞が破壊されて
脳が縮んだ状態。

✓ 具体的な悪影響 ①

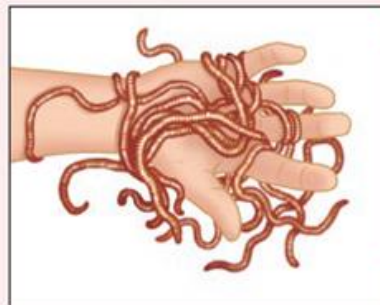
1 幻覚



かこ み いや むし
▲過去に見た嫌な虫



いま じぶん て
▲今の自分の手



げんじつ かこ
現実と過去の
きおくのせいり
記憶の整理が
つかなくなる!



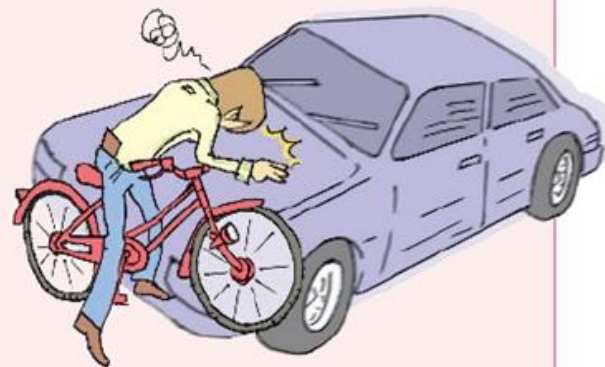
はんしゃかいてきこうどう
反社会的行動
げんかくもうそう さつじん
幻覚妄想による殺人!

2 運動機能の低下

ハンドルを
みぎ き
右に切らなきゃ
くるま
車にぶつかる!



おも
思ったように
からだ うご
体が動かない!



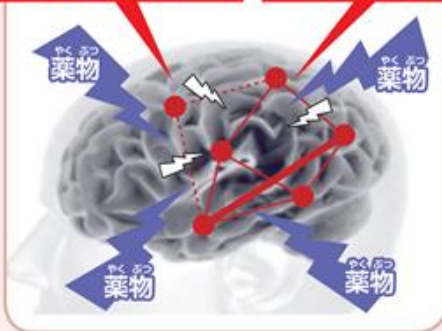
こうつうじこ
交通事故

✓ 具体的な悪影響 ②

3 内臓機能の低下

心臓を動かせ!

呼吸をしろ!



内臓器官に
指令が出
せない!



急性中毒死

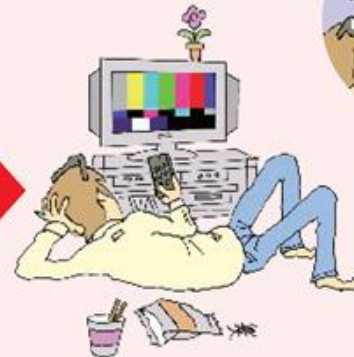
4 感情のコントロールがきかなくなる

やさしい心

思いやり



感情の
コントロールが
阻害される



社会的不適応



人格障害

✓ 具体的な悪影響 ③

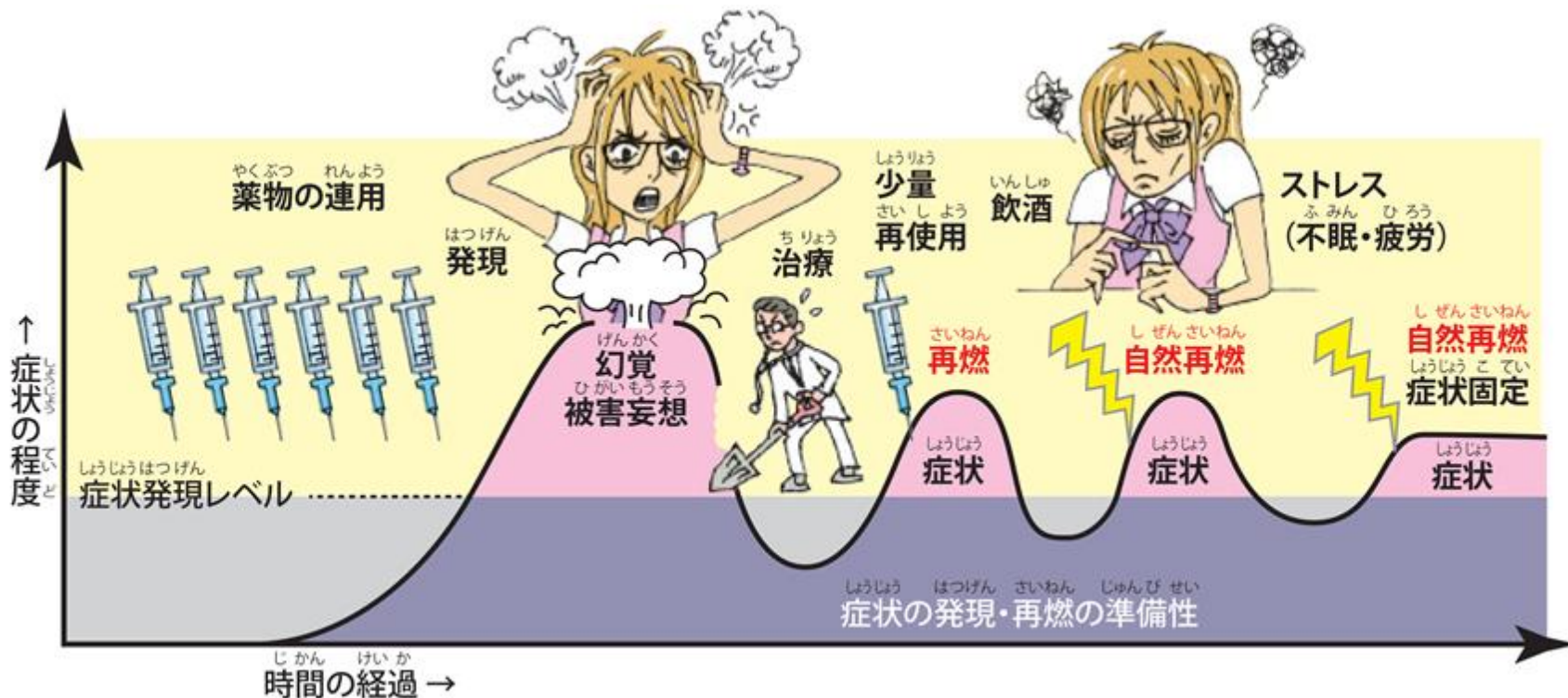
⇒ 薬物は「依存性」が極めて強い

薬物依存の2つの悪循環



✓ 具体的な悪影響 ④

⇒ 薬物乱用をやめても、フラッシュバックが起こる



ささいなストレス，睡眠不足，疲労，飲酒などをきっかけに，突然，幻覚や妄想などが起きる「フラッシュバック」(再燃)が起こることがある。

■ 薬物乱用による社会への悪影響

薬物を使用して車を運転し、誰かに追われている妄想に取りつかれ、歩行者をはねた。

(2012年, 大阪)

交通事故

危険ドラッグを使用し、隣人の女性宅に侵入し、顔・両腕などを切りつけ、ケガを負わせた。

(2014年, 東京)

傷害事件

高校2年生と中学3年生の姉妹は、知人の男性(22歳)から覚醒剤を購入し、友人の中学3年生に密売し、自分でも乱用していた。(2000年, 神奈川) **密売事件**

覚せい剤取締法違反(所持)で逮捕した無職の男(42歳)は、覚醒剤を買うために連続してひったくりを行っていた。

(2012年 東京)

窃盗

⇒ **薬物乱用は、周りの人にも危害を及ぼす！**

■ 乱用される薬物の種類と分類

(NO DRUG FUKUOKAのサイト参照)

【脳を興奮させるタイプ】



覚醒剤(かくせいざい)



コカイン



MDMA(合成麻薬)

【脳をまひさせるタイプ】



シンナー(有機溶剤)



ヘロイン(あへん系麻薬)



向精神薬

【幻覚・幻聴を起こすタイプ】



大麻(マリファナ)



LSD



MDMA(合成麻薬)